

やさしさとふれあいの西東京に暮らしまちを楽しむ

合併の総仕上げ、 自立した財政基盤の確立に向けて

平成21年度予算が
成立しました

市議会第1回定例会で、平成21年度予算が成立しました。

平成21年度予算は、厳しい財政環境の中にあっても、平成21年度からスタートする総合計画・後期基本計画を踏まえ、市民福祉の向上とまちづくりの推進に最大限応えていくための予算とするとともに、地域経営戦略プランの成果をもとに、将来を見据えた行財政運営を基本として編成しました。

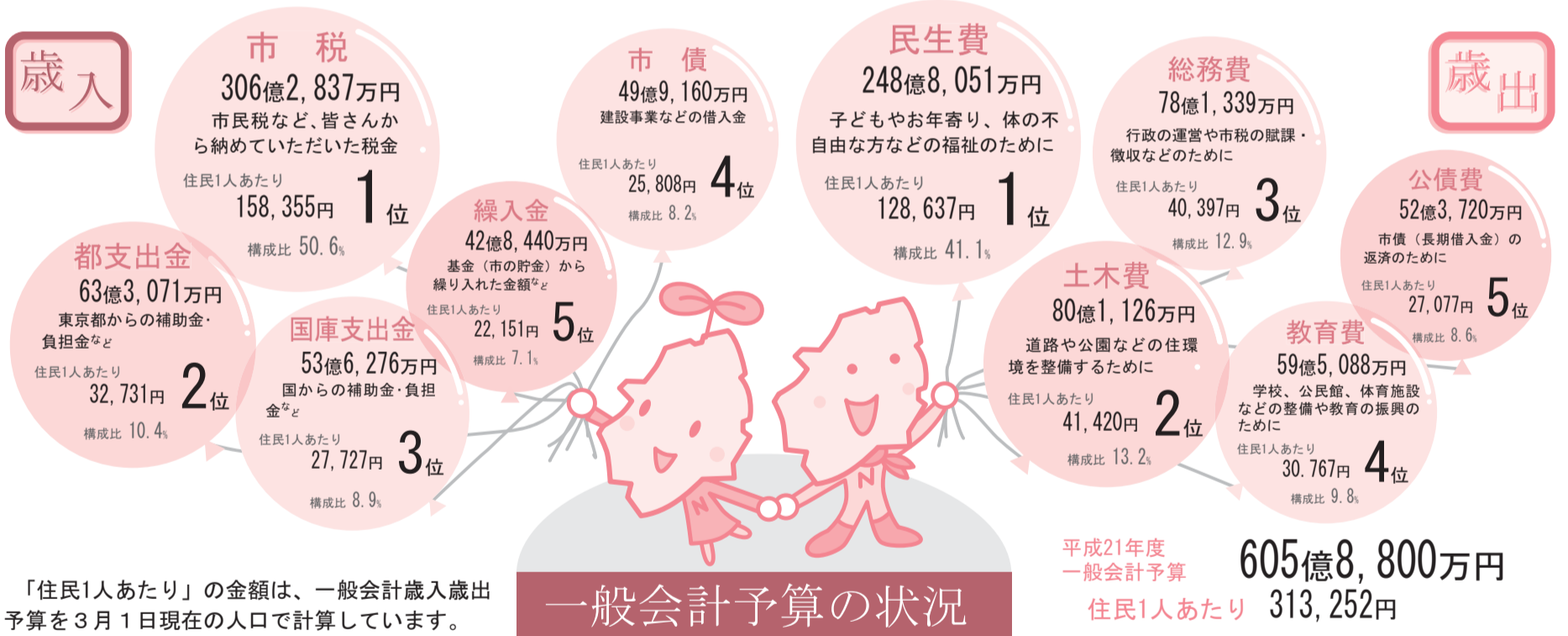
一般会計予算額は、605億8,800万円（前年度比0.9%減）、8つの特別会計をあわせた予算総額は、1,015億4,403万円で、前年度より10億5,327万円減少（前年度比1.0%減）しています。これは、下水道事業特別会計で過去に高利率で借入れた市債を低利率で借換えるために予算額が増えている一方で、老人保健（医療）特別会計で後期高齢者医療制度に移行することに伴い大幅に減額したことなどが要因となっています。

総合計画・後期基本計画は、残り2年となった新市建設計画を包含し、合併の総仕上げにあたる期間とその後の新たな船出となる期間とをつなぐ非常に重要な計画と位置づけています。今後の自立に向けた健全かつ強固な財政基盤を築きあげ、持続可能なまちづくりを実現していくため、この後期基本計画に掲げた事業や新市建設計画事業を着実に推進していくよう取り組んでいきます。

◆財政課 ☎(☎460-9802)

平成21年度の予算と計画事業の概要（2ページ）をお知らせします。

※各予算額は原則として表示単位未満を四捨五入しています。



「住民1人あたり」の金額は、一般会計歳入歳出予算を3月1日現在の人口で計算しています。

